

令和5年度 河川等水質検査結果

令和6年2月6日、13日採水

	調査地点	類型	水温 (°C)	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)
伊東大川	渚橋	B	10.4	7.7	2.7	1未満	9.7
	通学橋	B	10.4	7.3	1.8	1未満	10.8
	岡橋	B	10.0	7.9	3.2	1.1	11.9
	赤淵橋	B	9.0	7.9	2.1	1未満	11.5
	八代田橋	A	9.0	7.8	2.2	2	11.4
	ダム下	A	6.9	7.7	0.5	1.4	11.5
	白川橋	A	7.5	7.8	0.5未満	1未満	11.2
伊東大川支流	寺田川	B	8.8	7.4	3.9	1未満	12.8
	本郷川	B	10.0	7.2	8.0	2.5	9.8
	泉川	B	10.0	7.4	3.8	1未満	11.6
	荻水路	A	7.1	7.9	5.5	1未満	11.9
	落合川	A	7.2	7.1	0.6	1未満	11.2
その他	仲川	E	15.6	8.8	5.7	1未満	12.1
	川奈川	E	11.0	7.9	2.8	2.5	11.0
	富戸川	E	16.2	7.8	6.0	3.8	8.8
	八幡野川	E	11.2	7.9	5.0	1未満	7.0

生活環境の保全に関する環境基準（河川）抜粋

類型	利用目的の適応性	基準値			
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)
A	水道2級、水浴	6.5~8.5	2mg/以下	25mg/以下	7.5mg/以下
B	水道3級	6.5~8.5	3mg/以下	25mg/以下	5mg/以下
C	水産3級、工業用水1級	6.5~8.5	5mg/以下	50mg/以下	5mg/以下
E	工業用水3級、環境保全	6.5~8.5	10mg/以下	※	2mg/以下

※ ごみ等の浮遊が認められないこと

調査結果について

一部の河川においてBODが高い数値となりましたが、概ね良好な結果となりました。BODの数値が高い河川は生活雑排水の放流が原因と推察します。

また、仲川と富戸川は水温が非常に高いですが、温泉排水の放流が原因と思われます。